

## 新型スロープの不具合解消に向けて

### 大きく前進!!

新型スロープホーム側端部の具材が交換される。

**「こだわって」「あきらめず」「粘り強く」  
取り組んだ成果である!!**

新型スロープの不具合（ホーム側端部の角度）について、近い時期に新型スロープのホーム側端部の具材が交換されることになりました。

新型スロープは、昨年の6月に東海道新幹線各駅に配備されました。しかし、スロープとホームの接する部分に角度があり段差が発生しました。スロープを使用して車いすで新幹線車両に乗車する時に、車いすの前輪を上げないと段差に引っかかります。引っかかったまま車いすを押すと車いすが前のめりに転倒する恐れもありました。

私たちは、新型スロープが配備されて以降、新型スロープの不具合解消に向けて申し入れなどを行ってきました。

J R 東海は、「旧品に比べてホーム側端部の角度があるのは事実であるが、お客様が利用される車いすの大型化・重量化に対応するため耐久性を高め、安全性をさらに向上させるべく必要な補強措置を施したため厚みが増したものであり、不具合であるとは考えていない。設置箇所により段差が生じる場合は、まごころサービスブックに記載されている移動（段差越え）のとおり対応を行うことで問題なく対応できる。以上のことから新型渡り板に安全上の問題はない。なお、耐久性の維持とスムーズな乗降の両立を前提にホーム側の改良なども検討項目に上がってはいるが現時点では変更する予定はない。（2020年12月28日）」と無責任で不誠実な回答を行っていました。

ところが、J R 東海関西支社は10月21日の幹事間、サービスブックは10月19日の団体交渉において、「近い時期にスロープのホーム側端部の具材を交換する予定である」と回答しました。これはまさしく、私たちが新型スロープの不具合解消に向けて、こだわって、あきらめず、粘り強く取り組んできた成果です。

まだ、改良したスロープが手元がないので新型スロープの不具合がどれだけ解消されているのかわかりません。最良の形になるまで引き続き取り組んでいきます。

